

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 　　みと好文カレッジ運営審議会
- 2 開催日時 　　令和元年7月30日（火） 　14時00分から15時30分まで
- 3 開催場所 　　水戸市役所本庁舎5階 　会議室502
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員 　　松橋義樹，田口米蔵，中庭陽子，平野弥生，助川公継，川井洋子，  
　　　　　　金 光男，鈴木信子，海老澤裕
  - (2) 執行機関 　野澤昌永，山田規生，鈴木秀樹，橋本純子
  - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - (1) 平成31年度（令和元年度）みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について（公開）
  - (2) 平成31年度（令和元年度）みと好文カレッジ事業実施計画について（公開）
  - (3) 平成31年度（令和元年度）水戸市市民センター運営方針及び重点目標について（公開）
  - (4) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 　　0人
- 8 会議資料の名称
  - (1) 令和元年度第1回みと好文カレッジ運営審議会
  - (2) 令和元年度みと好文カレッジ運営審議会委員名簿
  - (3) 平成30年度みと弘道館大学市民センター等事業実績一覧（別冊）
- 9 発言の内容

委員長 　　それでは，議事に入らせていただきます。  
　　　　　　なお，本日の案件につきましては，全て公開とさせていただきますが，よろしいでしょうか。  
　　　　　　それでは，はじめに(1)平成31年度（令和元年度）みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について事務局から説明をお願いします。

執行機関 　(1)について，令和元年度第1回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明)

委員長 　　事務局から説明がありましたが，何か御意見，御質問等ありましたら，お願いいたします。

\_\_\_\_委員 市民センター運営審議会による第三者評価について記載がありますが、自分が運営審議会委員だったときは、市民センターからいろいろな情報が示されて、報告を受けながら動いていたような経緯がありましたが、現在においては、評価を行うということで、運営審議会委員の役割は、どのようなものですか。

執行機関 市民センター運営審議会は、各市民センターに設置しており、市民センター事業等について御意見等をいただいております。委員は、地域住民、学校関係者、市民センター利用団体代表のかたがたで組織され、年2回開催されている状況です。市民センターからの事業報告等が目立っていますが、市民センターを利用しているかたがたが事業の実施や見直しなどの意見を述べる機会になっており、市民センターの円滑な運営に向けて効果的に活用されていると考えています。

\_\_\_\_委員 そうすると、市民センター運営審議会委員が市民センター事業について助言することもあるのですか。

執行機関 市民センター運営審議会の議事録を見ますと、市民センター事業について、こういったものを実施してほしいなどの要望が出されている状況があります。

委員長 その他、あるいは、関連質問でも結構ですが、御意見等ございますか。

副委員長 同じく市民センターの事業評価についてのところですけど、効果的な事業を実施するためには、どのような事業を行っているか把握して、次年度に何を行っていくのかを決めていくことが大事だと思いますが、配布資料に記載されている数値を見たときに、適切なものかどうか分かりにくい感じがします。市民センターでの評価に当たっては、どのような資料が作成されているのでしょうか。

執行機関 市民センター運営審議会資料では、利用状況などは、単年度だけでなく、前年度との比較ができるようになっています。

副委員長 わかりました。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。関連質問でも結構です。御意見等ございましたらお願いします。

\_\_\_\_委員 さきほど、運営方針に現代社会の直面するいろいろな問題について市民と一緒に解決していくというものがあったと思いますが、平成30年度の市民センター等事業実績一覧を見ますと、現代社会の直面している課題について市民が市民として今後の暮らしのありようも含めて、市民に啓発したり議論を喚起したりするような講座があまりないように感じます。私は、放送大学で授業をさせていただいておりますが、学生さんは、社会人のかたでかなり年代の高いかた、若い人もいます。皆さんとても熱心で、参考文献を読んで来てくださいます。例えば、ちゃんと読んで来ます。茨城大学の学生さんが負けそうなくらい、放送大学に来る一般市民のかたはレベルが高いと思っています。せつかく、みと弘道館大学と市民センターがあって、水戸市の隅々までのネットワークがあり、市の予算で講座を開催しているのですから、現代のグローバル化の進んでいる水戸市で、ローカルな問題とグローバルな問題がどのように関わっているかとか、ニュースを聞いただけでもいっぱい課題が

あるのに、1つか2つくらい、そのような講座がないともったいないと思います。趣味的なものに終わっているように感じています。

執行機関 御指摘いただいたように、従来から趣味娯楽的な講座が多い状況がありまして、各市民センターに訪問研修等で現代的課題を取り扱った講座の実施を指導していますが、あまり拡大していない状況にあると思っています。女性学級や高齢者学級では、現代的課題を取り扱った講座を取り入れてはおりませんが、更に拡大に努めてまいりたいと考えています。また、現代的課題を取り扱った講座を開催できるよう人材育成のために、さきがけ塾という講座を開催しています。この講座修了生が登録する生涯学習サポーターと好文カレッジとの協働企画事業で講座を実施しています。今後は、市民センターとの連携事業として、地域の実情に合わせた事業が実施できるよう努めてまいりたいと考えています。

\_\_\_委員 わかりました。定年退職した高校の社会科の先生とか、水戸市には、大学も結構あります。そういうところで65歳くらいで定年されて暇そうにしているかたもいます。私の知っている人だけかもしれませんが、そういう人も市民ですので、協力を呼びかけて、主婦のかたや昼間時間の取れるかたに提供していく、これこそが水戸市民の教養を高めるためのテコになるなと思います。私は、現代的課題を正面から見ていくこと、そのものが教養教育、教養だと思っています。経験者のかたで、話したくてうずうずしているかたは、たくさんいると私は思っています。

委員長 それでは、続きまして(2)の平成31年度(令和元年度)みと好文カレッジ事業実施計画について、事務局より説明願います。

執行機関 (2)について、令和元年度第1回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明)

委員長 ただいま事務局から説明がありました。御意見、御質問などがございましたらお願いします。

\_\_\_委員 説明いただいた事業計画の事業は、ところどころ前年度から拡大するとの説明がありましたが、昨年度のを継続しているのでしょうか。

執行機関 はい。基本的に前年度からの継続事業となっています。

\_\_\_委員 それでは、毎年決まった時期に決まった形で実施していくことが理想的だと理解してよろしいのでしょうか。水戸市生涯学習基本計画に達成目標があって、当然そこに向かって好文カレッジの事業が動いていくときに、逆算して、どこまで達成すればよいのか、それぞれの事業でどういうイメージを好文カレッジで持たれているのかが、私は今年から委員になったので、共有できていなくて、昨年度は、こういうものがあって、ここを変えましたとか、昨年度に引き続き継続して実施しますとか。運営方針及び主要施策と事業計画をつなぐような部分のイメージのようなものが描けなくて、一つ一つの事業をどう判断するか基準が分からなかったです。多分良い事業を実施されているとは思いますが、何が必要で何を行っていくのかが分かるとよかったですと思います。

執行機関 御指摘をいただいたように、目標に対する事業の動きが会議資料だけではイメージできませんが、主要事業で説明しましたとおり、水戸市生涯学習推

進基本計画に位置づけた各種事業を推進していくことを掲げております。この推進計画に2023年度の達成目標を定めており、市民センターの一般教養講座の回数を計画策定時の1,070回から1,400回に、現代的課題をテーマとする講座を195回から270回に、生涯学習サポーター登録数を29人から80人にするなどの目標に向けて事業を実施しているところです。

委員長 関連でも結構ですし、あるいは、御意見、御質問等あればお願いします。  
\_\_\_\_委員 \_\_\_\_委員から御意見がありましたように、評価には、目標値が必要になってくると思います。今の説明では、開催回数が目標値にとどまっているのかなと思います。目標値に参加人数など、追加で検討していかないと、本来の目標達成につながらないと思います。商売人の観点から申し上げますと、広告宣伝費をいくら使ったかで終わりではなく、そこからいくら売上げがあったかということを追いかけないといけな。似たような観点から考えますと、参加人数を目標値として持っていただけなのか、検討していただけないのかなと感じます。

もう一つは、昨年度から更に拡大したり、引き続きしたりというものがありますので、市役所は正直、仕事し過ぎという思いがあります。どこかしら、数値目標などのところで、効率がよろしくない判断できるのであれば、やめていくことを考えていかなければ、職員のかたの負担もありますし、予算もありますので、その辺も加味していただき、やること、やらないことを検討していただければよろしいのかと思います。

執行機関 回数をこなすだけではなく、参加人数などの指標を把握することは必要だと思います。行事によっては、参加者の満足度調査をしているものもあります。個別に把握している状況ですが、事業継続についての判断材料としている状況もあります。また、スクラップ・アンド・ビルドの観点で効率性も考えなければなりませんので、どのように事業を進めていくか、今後も検討してまいりたいと考えています。

副委員長 どのような事業が行われているかはよく分かりましたが、運営審議会でするので、私たちがどのように判断して、議論するかという点で、配布資料では分からないように思います。市民に受け入れられているのか、そうでないのかとか、評価が分からないので、会議資料を分かるように、比較できるようにとか、課題になっていることを記載していただければ、時間が有効に使えるかと思いました。後、予算の記載がありませんが、どのくらい予算をかけて事業が実施されていて、それに見合った参加が得られているのかどうか、そういったものも資料に加えていただくとよろしいと思います。

執行機関 御指摘ありがとうございます。これまでの委員さんのお話も含めてですが、会議資料では、こういった事業を行っていますよというもので、これはこれで大切でお知らせしなければならないものと思いますが、例えば、昨年度との比較はどうなっているのか、自己評価ではどうなっているのか、アンケートを取ったときにどうなっているのか、そういったことを資料に含ませることによって、委員の皆様が御意見を出しやすい状況になると思いますので、今後の資料におきましては、予算のことを含めて検討させていただければと思います。

委員長 ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

\_\_\_\_委員 生涯学習サポーターが第1期生から第4期生まで47名ということで、今回のさきがけ塾は12名ということで、人数が横ばいなのは、理由があるのでしょうか。また、第1期から第4期までで重複しているかたがいるのでしょうか。また、事業開催に当たって、開催内容や開催時間などを市民センターと交渉しながら開催しているような状況はあるのでしょうか。

執行機関 生涯学習サポーターは、今まで2年間の受講期間のうち約7割出席したかたで、本人が登録を希望した場合に水戸市生涯学習サポーターに登録できることになっていました。第1期から第4期まで登録のタイミングは異なっており、一度登録すると継続できることとなっていますので、登録者の重複はありません。

\_\_\_\_委員 ずっと、サポーターとして関わっているのですか。

執行機関 はい。サポーターとして継続して関わっていただいております。サポーター協働企画講座の企画は、各期のサポーターが一緒になって活動しています。

また、事業開催日程等については、好文カレッジが希望する日時に市民センターを使用できるか確認していますが、対象者や内容についての調整は行っていません。なお、市民センターで大きな事業があれば、そちらを優先することとしています。

委員長 いかがでしょうか。それでは、また何かありましたら、後でお願いしたいと思います。

それでは、次に進めてまいります。(3)の平成31年度(令和元年度)水戸市市民センター運営方針及び重点目標について、事務局より説明願います。

執行機関 ((3)について、令和元年度第1回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明)

委員長 ありがとうございます。それでは、(3)について御意見、御質問等がございましたらお願いします。

\_\_\_\_委員 市民センターは、制度上、具体的にどのような住み分けをして、お金はどのような形でついていてなど、それは整理されているのですか。

執行機関 市民センターは、従来、公民館として教育委員会生涯学習課の所管でしたが、今まで公民館が担ってきた生涯学習活動の衰退を招かないよう、条例には、地域コミュニティ活動と生涯学習活動に関する事業を行うことが規定されました。職員の身分については、市民センター職員は、市民生活課職員ですが、生涯学習課課長補佐の併任発令をしています。予算については、施設運営にかかる予算は市民生活課、生涯学習事業にかかる予算は教育委員会で予算措置をしています。

委員長 ありがとうございます。他にございますか。特になければ、全体を通して、最後にもしありましたらお願いします。

それでは、意見といたしまして、確かに運営審議会で審議するという上で重要なのは、次回どうするかということになりますが、評価項目の中で、これを拡大するのか、縮小するのか、現状維持なのか、全てを細かく見ていくことは大変だと思いますが、大枠で、次年度は成果を見たときに拡大してい

くとか、年次で例年どおり実施する事業と、今年は令和元年で国体があるので、それに特化したプログラムを啓発的に実施するなど、柔軟な組み合わせというか、そのような観点でやっていくと、更に活性化が図られるのではないかという感想を持ちました。

\_\_\_\_委員 この運営審議会では事業評価をしたり、今後の展開などを審議したりするのであれば、御発言があったように、資料が足りないのではないかと思います。全体をやったのでは、資料が膨大になるので、これまでの審議会での進め方は、ちょっと分かりませんが、資料は、予算なども含めて出していただければと思います。

委員長 他にはいかがでしょうか。

\_\_\_\_委員 審議会というものに関して、放送局でも番組審議委員会というものがありまして、全部の番組をチェックしなければなりません、それができないので、原則的には、毎月1つないし2つの番組を審議するということで行っています。全てを行うことは難しいので、提案ですが、1つないし2つの事業をピックアップして、審議を掘り下げていくというやり方も検討いただければと思いました。

\_\_\_\_委員 ところで、運営審議会は、年何回開催する予定ですか。

執行機関 年2回です。

委員長 それでは、御苦勞をおかけしますが、よりよい審議ができればと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、特になければ、以上で全ての審議を終了したいと思います。ありがとうございました。